

'99スーパー耐久シリーズ
第6戦・第7戦・第8戦 クラス2

CMSC
山形

小川日出生選手組後半戦の好成績で見事逆転! 念願のシリーズチャンピオンを獲得!



写真左、シリーズポイントトップに立った、CMSC山形小川組第6戦の走り。写真上、第6戦優勝の表彰台。



写真上、第7戦でトップを走るCMSC座間市村組。写真下、感激の優勝の表彰台。



スーパー耐久シリーズ99は、最終戦の第8戦を終了してCMSC山形・小川日出生選手／細野智行／伊藤勝一選手組のRSオガワADVANランサーがシリーズチャンピオンを獲得した。前半戦は3位続きと惜しい戦いだったが、第5戦以降の活躍で見事にシリーズポイントを逆転しチャンピオンの座を獲得した。シリーズポイントでトップにたった第6戦の模様から振り返ってみたい。

第6戦は9月18・19日ツインリンクもてぎで行われた。前戦の第5戦で今シーズン初優勝を飾っていた小川組、ライバルはプーマランサーとCMSC座間の市村組。予選3位で決勝へ。トップのプーマランサーは不運が続き脱落。代って「抑えたベース配分でポジションキープで挑んだ。」小川組がクラス2のトップに躍り出た。後半は同じチームのデープ岸選手／武井寛史選手／笠原昌二選手組が2位に上がり、うれしい1・2フィニッシュ。小川組はここでシリーズポイントトップに立った。

第7戦は、10月9・10日富士スピードウェイで行われた。ライバルは同じプーマランサーとCMSC座間の市村組。小川組は前回同様予選3位。決勝では、プーマランサーはまたもリタイア。CMSC座間の市村組がトップを守りきりクラス優勝。総合でも2位に入る快走だった。ここで小川組は2位を確保。シリーズポイントでの差を19と広げることができた。

そして最終戦は11月14日スポーツランドSUGOで行われた。小川組は決勝9位以上でシリーズチャンピオンが確定。予選6位の小川組は順位よりも完走を目標にスタート。優勝は、ここ2戦不運続きだったプーマランサー。2位には前回優勝の座間・市村組。小川組は6位で見事シリーズチャンピオンを獲得した。地元のSUGOでのシリーズチャンピオン決定は特別な喜びがあったに違いない。

「苦勞が報われました。」

スーパー耐久クラス2シリーズチャンピオン 小川日出生

永年の夢がかなって、大変うれしく思っております。これもラリーアート様全国のCMSCクラブ員の方々のご協力があってこそ成し得た事と感謝しております。今後もこれにおられることなく、日々精進を続け、若い人達の見本となるべき活動を続けてゆきたいと思

ております。ラリー車としてはあまりにも有名なランサーを初めてサーキットに持ち込み、人に言えない苦しみを味わいながらもここまで続けてきた事が、やっと報われたような気がしております。パイオニアとしての苦悩があったからこそ喜びもこの上ないものになりました。

シーズンオフに入った今、新たな挑戦へ向けて、構想を練っているところです。サーキットで私を見かけた時には、気軽に声をかけて下さい。全国のクラブ員の方々とお会い出来ることを楽しみにしております。来シーズンもどうぞ宜しくお願いいたします。

「喜び溢れるチーム関係者の顔が忘れられない!」

第7戦優勝 CMSC座間 市村秀明

今回の第七戦は、私とチームの地元富士スピードウェイでの開催となり、前回の屈辱を晴らす絶好のチャンスとなりました。金曜日の前日練習では、ライバルでもあるプーマランサーをも抜く勢いで好タイムで前日練習を終えました。

予選当日、1回めのアタックは、私が4周行い、1分39秒788で総合7番手、クラス2番手でチームメイトの川崎選手にバトンタッチ。川崎選手も期待に応じてタイムを1分39秒448で結果クラス2番手のまま予選を終了した。

決勝当日、チームオーナー、スポンサーの方々の方々の期待の中、車をグリッドにつけ私が第一ドライバーで車内で精神統一。スタート直後、頑張りプーマランサーに追いつこうと努力したが徐々に離されていき、無線で監督に「タイムキープで走ります。」と言った瞬間、13周目にプーマランサーが1コーナ出口でエンジンブロー。私はとっさにタイムアタックモードに突入。みるみるうちに2位とも離れ無事45周を終えてチームメイトの川崎選手にバトンタッチ。クラス1のGTR勢が総々とトラブルでピットインをしている中、我々のランサーは快調に飛ばし、82周目給油とドライバー交代の為にピットイン。128周目突入直後「残り10周頑張り下さい。」との無線が入り、残り1周の時ピットの中のチーム関係者は大興奮。そんな様子を頭に浮かべながら「無事最終コーナーをクリアしました。」と無線を入れました。そしてチェッカーフラッグがふられた。表彰台から見おろすチーム関係者の顔は、喜びにあふれ、今でも忘れられない光景となった。来年もこの光景を見られる様に頑張りますのでご声援をお願いします。

CMSC会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様にとって、昨年はいかかな年でしたでしょうか。当CMSCは昨年、「座間」と「南茨城」を新たな仲間を迎え入れ23支部約700名の会員の組織となりました。各支部での主催イベント、各会員の皆様の内外を含めての積極的な競技参加を通じて、皆様の活躍は聞かえてまいります。

今年は、2000年という区切りの年。20世紀に発展したモータースポーツを21世紀へつな

げ、さらにその発展のためのステップの年にしていきましょう。また、皆様と本部のいずれもがCMSCのメンバーとして誇れる年ともなるよう頑張りましょう。最後に、皆様の今まで以上のご活躍をお祈り申し上げます。

2000年 元旦 CMSC会長 外川一雄



'99全日本ダートトライアル選手権 第8戦・第9戦

AIIIクラス CMSC大阪 **藤原雄一郎選手、シリーズチャンピオン獲得!**

AIIIクラス
CMSC大阪
藤原雄一郎選手
第8戦 3位
第9戦 4位



AIVクラス CMSC群馬 **荒井信介選手、第8戦、3年振りの優勝!**

AIIIクラス
CMSC浜松
相原保雄選手
第8戦 4位
第9戦 2位



第8戦:「'99モンテカルロカップ ダートトライアル・イン・ヒロシマ」
9/2日(日)広島県高田郡高宮町「テクニックステージカタ」
第9戦:「大誠テクノCUP ダートイン関西'99」
10/11日(日)大阪府堺市築港八幡町「新日鐵堺オフロードウェイ」

AIVクラス
CMSC群馬
荒井信介選手
第8戦 優勝
第9戦 5位



AIVクラス
CMSC札幌
宝田芳浩選手
第8戦 5位
第9戦 2位



AIVクラス
CMSC栃木
赤羽政幸選手
第8戦 2位



Iクラス
CMSC座間
小出久美子選手
第9戦 3位



'99全日本ラリー選手権四輪駆動部門第9戦(最終戦)

Bクラスにはもうすでにシリーズチャンピオンが決定しているCMSC道北の鎌田豊選手と同じ道北の鷹野健太郎選手が出演。鎌田選手は残念ながらリタイアという結果でしたが、鷹野選手が4位に入りシリーズポイントも3位と健闘してくれました。また、CクラスではCMSC

埼玉の田口幸宏選手が出場し5位に入賞し、シリーズポイントでも5位を確保しました。

第9戦:「第27回M.C.S.Cラリー-ハイランドマスターズ'99」
10/16(土)~17(日)岐阜県大野郡宮村「飛騨山スキー場」スタート・ゴール



CMSC道北
鷹野健太郎選手 第9戦 4位 '99全日本ラリー選手権シリーズ3位(Bクラス)



CMSC埼玉
田口幸宏選手 第9戦 5位 '99全日本ラリー選手権シリーズ5位(Cクラス)

最終戦、ナビは本部・田口氏。(右)

CMSC道北・鎌田豊選手(全日本ラリー4WD部門 Bクラスチャンピオン)
CMSC山形・小川日出生選手(スーパー耐久シリーズレース クラス2チャンピオン)
CMSC大阪・藤原雄一郎選手(全日本ダートトライアル AIIIクラスチャンピオン)

'99ラリーアートドライバー・オブ・ザ・イヤー受賞!!

12月17(金)三菱自動車工業本社内で、'99ラリーアートドライバー・オブ・ザ・イヤーの国内選手の表彰式が行われ、CMSCから3選手が選ばれました。CMSC道北の鎌田選手は2年連続3度目の受賞。CMSC山形の小川選手とCMSC大阪の藤原選手は初受賞しました。



後列左、鎌田選手。左から2人目、藤原選手。前列右、小川選手。

CMSC栃木 赤羽政幸
WRC第10戦ラリーフィンランド 参戦記

港でビックリ!それも思い出になった遠征。

今回初めてのヨーロッパ遠征、モータースポーツの本場で奥の深さを見てきたような気がします。F1サーカスと言いますが、まさしくWRCサーカスの世界なのです。

これまでアジア、オセアニアのWRCに参加してきましたが車メーカーの数、サポートカー、トラックの数、物量、携わる人々の数、ギャラリーの多さは比べる物ではありませんが感動しました。また、今年は参加131台、その内40台がシード選手、私のエントリーしているN4クラスも46台という大量エントリーでした。

まず、港にラリーカーとサービスパンを引き取りに行くとビックリ!車内が荒らされランサーのフロントガラスにはヒビが入り、サービスパン、車載用工具が持ち去られていました。早速ユバスキラの三菱ディーラーでフロントガラスの交換をしてもらうことになったのですが、そこは三菱ワークスチームのガレージにもなっていてマキネンのレック車をじっくり見ることができ勉強になりました。

今回結果は総合36位クラス14位でしたが並み居る地元の強豪達の中、まずまずの成績ではないかと思えます。サービスパンも日本からボランティアで参加してくれた杉村さん、正美さん、

出村さん、山谷さん、モスクワから来てくれた藤井夫妻、声をかけたら手伝ってくれたヨーロッパ旅行中の若者2人、ニュージーランド人のマリ、とても良くしてくれた民宿のオーナー夫妻…。始まりは大変だったけど終わってみれば楽しい思い出ばかりです。最後になりましたがサポートしていただきましたスポンサー各社の皆様には、感謝いたします。



CMSC鹿児島 山口 修
WRC第13戦オーストラリアラリー 参戦記

「ひたすら完走」そして得たものは?

1999年11月4日～7日、西オーストラリア州パース市を舞台に開催されたWRCラリーオーストラリアに行ってきました。昨年も参戦したこのラリーですが、レグ1前半でリタイヤを喫し全開時のコースを把握してないため、今年は全開アタックを避け「ひたすら完走」を意識して走りました。しかし、ハイスピードクレストが多いこのラリーは思いのほか難しく、いたるところでジャンプ後のジャンクションを直進してしまい、またレグ1から”Fショックは抜ける、

Rショックは曲がる、サスペンションリンクは折れる”など多くのトラブルに見舞われ、予定のペースで走れませんでした。しかし、どうにか完走を果たしクラス7位、総合20位の結果は、内容の割には良かったと思っています。また今回我々に何が不足していたのか? 今後何が必要なのか?完走できて改めてわかったような気がします。

今年は、国内ラリーを休戦し、今回のラリーとアジアのラリータイランドの2戦のみの参戦でしたが、2000年は更なるチャレンジを目指し、より多くの海外ラリーに参戦したいと思います。最後になりましたが、今年の活動にあたり(株)ティエムシー、横浜ゴム(株)をはじめ、御協賛をいただきました各社に厚く御礼申し上げます。



CMSC福島 佐藤雅弘選手

CMSC福島の佐藤雅弘選手は1993年ラリーオーストラリアに出場以来6年振りに同ラリーに参戦。惜しくも第2レグでリタイヤしました。



1999JAFカップジムカーナ

CMSC青森 宇野慶一選手
CIIクラス 5位
(東北地区2位)



CMSC青森 工藤裕史選手
CIIクラス 6位
(東北地区6位)



CMSC福島 佐藤義隆選手
CIIクラス 19位
(東北地区5位)



ジムカーナの祭典、全国の強豪が集まるこの大会に、CMSC勢からは青森の宇野慶一選手と工藤裕史選手、そして福島の佐藤義隆選手が出場しました。

1999年JAFカップジムカーナ:11/14日(日)千葉県香取郡栗源町「浅間台スポーツランド」

() はノミネートの'99シリーズ成績

CMSC青森 12月4日 '99CMSC青森総会&忘年会
7月にはCMSC初の全日本ラリー開催!

20世紀最後のCMSC青森総会&忘年会を12月4日弘前市内のホテルでCMSC本部から外川会長、ラリーアート様から須賀氏を迎えて盛大に開催しました。来年は当クラブ主催による全日本ラリーのこともあり外川会長、須賀氏からは貴重なアドバイスを頂きました。また、ジムカーナ部会長の小館からは、今年のジムカーナ報告と次年度の計画についてそれぞれ報告と抱負がありました。総会はずみやかに終了し引き続きアルコール大好きクラブの大宴会が始まりました。

恒例のお楽しみ抽選会では、なんと「トミー・マキネン」チャンピオンのサイン入りTシャツもあり大にぎわいとなりました。協賛して頂きました「ラリーアート様・青木科学研究所様・コックピット弘前様・岩木屋様・本町坂鳥っこ様」には紙上をお借りして、お礼と感謝の気持ちを表したいと思います。これからもよろしくお願いたします。

それでは、全国のCMSC同志の皆さん 希望に満ちあふれる2000年を迎えるよう祈念して '99CMSC青森総会&忘年会のレポートとします。(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)



CMSC仙台 10月31日
もみじがりトライアル'99

会長の試走が火を付けて迫力満点!?!の大会に。



10月31日(日)仙台ハイランドダートコースにおいて、宮城県シリーズの最終戦としてCMSC仙台主催「もみじがりトライアル」を開催いたしました。毎年恒例となったこの大会、日頃のチーム員の行いが良い(?)せいか、晴天にも恵まれ71台がエントリー。

まず最初に、特別協賛をいただき大会会長でもある仙台三菱・山下社長が、軽やかなハンドリングでアスティを操り試走。盛り上がったエントリーは第1ヒートから、転倒車は出るは、ベストタイムを連発するのは白熱した展開に。第2ヒートではさらに数台の転倒が出るなど、アクシデントあり、笑いあいの楽しくも迫力満点の大会となりました。

今回の大会開催にあたりご協力くださいましたスポンサーの方々、お手伝いいただいたスタッフの皆様、この場をお借りして御礼申し上げます。来年は2月11日の「スノートライアル」からがんばるぞ!

(CMSC仙台 木村勝弘)

CMSC広島 12月4・5日

西日本ダートフェスティバル 参戦レポート

黒田真次選手、2年連続AIV優勝!

1999年最後を飾る、中部地区以西の、ビッグイベントが12月4・5日に九州の三井三池オートスポーツランドで開催されました。今年で第4回となるこのイベントは、西日本のダートトライアラーの目標となるイベントで今回も160台のエントリーを集め、あいにくの天候でしたが、大変盛り上がりました。黒田選手は、日頃の実力をフルに発揮し、1トライ目には総合のベストタイムを叩きだし、2トライ目に望みましたが雨が降りだしたタイムダウン。しかし、各車黒田選手の1本目のタイムを更新することは出来ず、2年連続のAIVクラス制覇となりました。

(CMSC広島 平原和幸)



写真上、表彰台での黒田選手。(中央)写真左、黒田選手の走り。

CMSC香川 9月26日
'99CMSCアストロトライアルII

三木利夫選手G地区AIIIクラスシリーズチャンピオン獲得!



9月26日、四国選手権第10戦として'99CMSCアストロトライアルIIを主催しました。参加台数は59台と、最終戦としてはやや物足りない感じになってしまいました。しかしその分競技終了が早かったため、個人的には家族サービスをすることができたのでよしとしましょう。参加台数の減少という暗い1年ではありましたが、当クラブには明るい話題が1つあります。三木利夫選手が地区戦AIIIクラスでシリーズチャンピオンを獲得しました。昨シーズンは、ほとんどノーマルで通しましたが、このシーズンオフにT/Mを変える予定で連覇を目指します。応援してください。

(CMSC香川 白井 修)

G地区AIIIシリーズチャンピオン獲得の三木利夫選手。

CMSC帯広

11月14日 ジムカーナ練習会報告

最近、チームでは一番活動が盛んなジムカーナ部員が企画して、11月14日に十勝インターナショナルスピードウェイの駐車場を利用したジムカーナ練習会を開催しました。自己申告ターゲットタイムとの誤差を競う方式としたため、参加車両はレース用からノーマル車、又タイヤもスリックからラリータイヤとバラエティーに富んだ参加となりました。結果は誤差5/100秒というダントツタイムで優勝した会長が賞状を見せつけて今年最後の走りを締めくくりました。

(CMSC帯広 中村洋次)



14

CMSC島根
古藤 浩美

勝者の証

たはん
ました
ました

WR C4 連覇
T/Mにキレ

マキネ
エンジン
ついで登場
カチンと得意!

彼の名を
冠した
冠した

近目発売!!
エンジン
ついで登場
カチンと得意!

さて先日
全日本知ら
く々の優勝
其速もたえ
な

← 3月と
4月2日11-6

AIVクラスCMSC札幌 宝田芳浩選手優勝!

シーズン最後の祭典であるこのイベント、オールスターダートトライアルが11月21日、栃木県黒磯市の「丸和オートランド那須」にて開催されました。AIVクラスでは、全日本同クラスシリーズ2位の札幌・宝田芳浩選手がシリーズチャンピオンを破っての優勝。ベスト10には6人もの選手が入賞。

() はノミネートの'99シリーズ成績



特別後援
SHUZZUKI
LIIクラス/座間/小出久実子 4位 (全日本2位)



LIIクラス/福島/佐藤幸子 7位 (B地区)



AIIIクラス/大阪/藤原雄一郎 3位 (全日本1位)



AIIIクラス/浜松/相原保雄 6位 (全日本3位)



AIIIクラス/福島/斎藤千尋 8位 (B地区1位)



CIHクラス/岐阜/原 利之 10位 (D地区1位)



CIHクラス/岐阜/三枝重光 14位 (D地区2位)



CIHクラス/福島/大泉 剛 15位 (B地区2位)



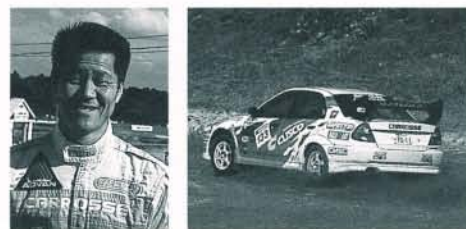
AIVクラス/札幌/宝田芳浩 優勝 (全日本2位)



AIVクラス/岐阜/三枝光博 3位 (全日本7位)



AIVクラス/栃木/赤羽政幸 4位 (C地区1位/全日本8位)



AIVクラス/群馬/荒井信介 6位 (全日本4位)



AIVクラス/山形/湯本 敬 8位 (C地区4位)



AIVクラス/岐阜/榎田正文 10位 (D地区1位)



AIVクラス/大阪/吉村 修 12位 (E地区1位/全日本9位)



AIVクラス/広島/若根つるも 14位 (F地区2位)



CIHクラス/座間/秋間忠之 11位 (C地区1位)



Dクラス/広島/河内 涉 5位 (全日本3位)



Dクラス/岐阜/栗本利也 11位 (D地区4位)



Dクラス/浜松/蓮池量之 15位 (D地区3位)

CMSC各支部会長2000年活動抱負

	CMSC道北 会長 丹羽裕一 モータースポーツのステータス性、社会的認知度を上げるため積極的に競技参加していきます。
	CMSC帯広 会長 中村洋次 若手を育成しチーム全体の活動を盛んにしていくことを2000年の目標にします。
	CMSC札幌 会長 宝田芳浩 99年はクラブ員のレベル向上の年でしたが、2000年はクラブ員増員、加盟クラブへの転換を目標としています。
	CMSC青森 会長 鶴ヶ谷慶市 念願の全日本ラリーを開催。地域におけるモータースポーツ活動にクラブ員と力をあわせ邁進したいと思います。
	CMSC秋田 会長 近藤隆行 明るく楽しくをモットーに、モータースポーツを楽しみながら仲間を増やしていきたいと思っています。
	CMSC岩手 会長 工藤 守 今年は会場確保もできそうなので、ダートラを開催予定です。2000年代スタートの年、よい年にしましょう。
	CMSC山形 会長 小川日出生 2000年という記念すべき年にCMSC山形クラブ員一同は、飛躍の年にすべく一丸となって頑張ります。
	CMSC仙台 会長 佐藤政一 2月11日にはスノートライアルを開催しますので各支部の参加大歓迎です。恒例の豚汁でおもてなします。
	CMSC福島 会長 菅野 茂 世代交代をさらに押し進め、若いクラブ員をどんどんビッグイベントへ送り込み活躍して欲しいと思います。
	CMSC群馬 会長 荒井信介 初心にもどり、どんなモータースポーツでも数多く出場すること。チャレンジカップも上位入賞を目指します。
	CMSC栃木 会長 松本珪典 モータースポーツへの参加動員数増加を目標に21世紀への足がかりの年として新しいことにチャレンジします。

	CMSC南茨城 会長 額賀誠史 99年は各支部との交流の道が開け、実りある1年でした。2000年はより実りある年にと決意を新たにしております。
	CMSC埼玉 会長 長塩 貫 2000年という区切りの年を迎えて全員の力を集結しCMSC埼玉の結束を一段と固め飛躍したいと思います。
	CMSC千葉 会長 右近 忠 CMSC千葉としては、新規クラブ員の加入促進、手軽に参加できる走行会等に力をいれて行きたいと思っています。
	CMSC座間 会長 磯部芳彦 スーパー耐久レース、全日本ダートラ選手権のシリーズ優勝に加え、全日本スーパーカートも狙います。
	CMSC浜松 会長 山内伸弥 2000年、ミレニアム、Y2Kとか騒がず、毎年々を着実に進歩して行きたいと思っています。
	CMSC愛知 会長 吉野正則 21世紀に向けて区切りの年になりわがクラブも新人が増え活発に活動していくつもりです。
	CMSC岐阜 会長 浅野博孝 2000年は、モータースポーツ活動をクラブ員全員で盛り上げて行きたいと思っています。
	CMSC大阪 会長 若下利勝 9年目を迎えダートラ単独主催を成功させるためチーム員一丸となってがんばりたいと思っています。
	CMSC島根 会長 杉坂啓一 全国CMSCクラブ員の方々とともに2000年を迎え、さらに明るく元気に盛り上がりて行きましょう。
	CMSC広島 会長 岩根つもる クラブ員一丸となりイベントを成功させ、エントラントはより良い成績を残せるよう、頑張りたいと思っています。
	CMSC香川 会長 平尾高王 四国のベストオーガナイザー、エントラントを目指し、今年もラリー・ダートラ・ジムカーナにがんばります。
	CMSC鹿児島 会長 原園俊郎 新しい時代の幕開けです。それにふさわしいスタートを切れるようクラブ員一丸となってチャレンジします。

'99チャレンジカップ

座間、リード広げる。逃げ切れるか？

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
座間	763	628.5	791		2182.5
福島	629	753	474.5		1856.5
帯広	544.5	570	429		1543.5
広島	526	411	314		1251
大阪	551	409	229.5		1189.5
山形	219	371	263		853
栃木	251	184	300		735
道北	471	186	55		712
青森	192	332	138		662
浜松	319	168	122		609
札幌	246	136	167		549
群馬	135	0	409.5		544.5
香川	187	230	102		519
岐阜	11	347	83		441
岩手	129	117	140		386
島根	101	128	109		338
埼玉	0	189	83		272
千葉	0	0	223		223
仙台	27	52	73		152
秋田	1	50	38		89
愛知	22	26	24		72
南茨城	15	0	0		15
鹿児島	0	0	0		0

最終コーナーにさしかかるところで、座間がリードを広げましたが、他は前回のまま。栄光の行方は？次号発表です。

●ラリー・ドライバー部門

丹羽浩道	千葉	223
鎌田 豊	道北	203
後藤英隆	福島	150
鷹野健太郎	道北	150
田口幸宏	埼玉	102
岩見浩紀	道北	63
樋口 宏	大阪	52
森 新次	香川	44
中島 律	広島	35
白井 修	香川	34

●ラリー・ナビゲーター部門

川村知恵	道北	246
中村洋次	帯広	155.5
岩井良祐	福島	49.5
渋谷信人	福島	44.5
須田 力	秋田	42
野村左江子	広島	35
山地英樹	香川	24
平尾高王	香川	24
遠藤 昇	仙台	22

●ダートラリアル部門

藤原雄一郎	大阪	630
秋間忠之	座間	625
小出久美子	座間	597
宝田芳浩	札幌	546
河内 涉	広島	398
石井宏和	座間	393.5
湯本 敬	山形	310
吉村 修	大阪	299
荒井信介	群馬	286
赤羽政幸	栃木	268

●ジムカーナ部門

青沼達也	帯広	331
三崎朋弘	帯広	286
長内 豊	帯広	225
高野 聡	福島	217
宇野慶一	青森	170
平山敦朗	浜松	136
渡辺 弘	福島	119
村上直子	帯広	103
葛西 満	青森	102
藤谷英晶	青森	95

●レース部門

小川日出生	山形	218
内堀寛史	栃木	113
川口法行	栃木	103
市村秀明	座間	71
川崎俊英	座間	71
寺澤 誠	栃木	61
添田 正	栃木	43

●ポイントのつけ方

ポイント	A	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
		40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A: <ラリー、ダートラリアル、ジムカーナ>全日本選手権(含むレディースクラス)、地方選手権(除くレディースクラス)、A.B.C.D.E.F.G層上級シリーズ、オールスターダートラ(含むレディースクラス)、JAF Cupジムカーナ(含むレディースクラス)、A-H地区オールスターダートラリアル(含むレディースクラス)
<レース>全レース
<海外競技>FIA,ASN,公認全て
B: 上記以外